

議案第 2 号

沖縄県離島児童・生徒支援センター（仮称）に係る施設の正式名称候補及び愛称について

沖縄県離島児童・生徒支援センター（仮称）に係る施設の正式名称候補及び愛称について、別紙案のとおり提出し、教育委員会の協議による議決を求める。

平成27年 8 月27日提出

沖縄県教育委員会教育長 諸見里 明

理 由

高等学校が所在していない離島の中学校を卒業した高校生の宿泊の用に供するための施設並びに離島の児童生徒の諸活動及び交流のための施設を提供するため、沖縄県離島児童・生徒支援センター（仮称）を設置することとしている。

当該施設の設置に当たって、設置・管理条例に記載される「正式名称」候補及び入寮生や離島住民等に親しみや関心を持ってもらうための「愛称」について、教育委員会として決定する必要がある。

これが、この議案を提出する理由である。

【参考・根拠規定】

沖縄県教育委員会の議決事項及び教育長に委任する事項等に関する規則
（議決事項）

第3条 会議において議決する事項は、次のとおりとする。

- (1)、(2) (略)
- (3) 県立学校その他の教育機関の設置、廃止及び位置の変更に関すること。
- (4)～(9) (略)
- (10) 前項に掲げるもののほか、特に重要かつ異例と認められる事件に関すること。

別紙

沖縄県離島児童・生徒支援センター（仮称）に係る施設の正式名称候補及び愛称の案

1 正式名称候補

(1) 沖縄県立離島児童生徒支援センター

(2) 沖縄県離島児童生徒支援センター

(注) 表記順は選定委員会における優先順位（以下同じ）

2 愛称

(1) 群星寮

(2) 希望寮 (2) さんご寮

(4) 雄飛寮 (4) みらい寮

沖縄県離島児童・生徒支援センター（仮称）に係る名称決定までの経緯

1 名称選定委員会による選定（8月21日開催）

（1）正式名称候補

- ①沖縄県立離島児童生徒支援センター
- ②沖縄県離島児童生徒支援センター

【候補選定理由】

- ・「離島」の語句は、施設の目的や対象者を表す語句として使用
- ・利用の対象者は、小学生も対象となることから、「児童生徒」を使用
- ・「学生寮」及び「交流室」の両方の施設の機能を表し、親元を離れた高校生や児童生徒を支援するという趣旨で「支援センター」を使用
- ・冒頭の「沖縄県立」または「沖縄県」については、教育機関の一つと位置づける同センターの性格から、ほかの教育機関（図書館、青少年の家等）と同様に、「沖縄県立」が最も適している。
- ・「離島児童生徒支援センター」は、これまで住民説明会や広報、議会答弁等で使用し、周知が図られている「沖縄県離島児童・生徒支援センター（仮称）」と違和感なく説明等を行うことができる。

（2）愛称

- ①群星寮
- ②希望寮、さんご寮（左の2つの優先順位は同順位）
- ④雄飛寮、みらい寮（ " ）

【候補選定理由】

- ・各応募作品の愛称に込めた思いを踏まえ、各委員の投票により選定した。

・群星寮

（愛称に込めた思い等）

「読み方（むるぶしりょう） 群星は多くの星を意味します。県内各離島から集まった生徒は、様々な夢や希望を持ち入寮します。生徒一人一人が輝く星として、この寮でともに過ごし、切磋琢磨しながら成長していく姿をイメージしています。（応募者：中学生）」

(選定委員会の議論)

- 委員長も含めた5人の審査員のうち、3人が1位、1人が3位に選
び、合計10点で評価が最も高かった。
- 「群星」の読み方については、提案者の読み方を尊重し「むるぶし」
としているが、地域によっては「むりぶし」と読むところもあるこ
とから、読み方を限定するのか、限定せず漢字表記だけにするのか、
教育委員会会議の議論にゆだねることとなった。

・希望寮

(愛称に込めた思い等)

「読み方(のぞみりょう) 希望にあふれた寮であるように。(応募
者：一般)」

(選定委員会の議論)

- 5人の審査員のうち、2人が2位と評価し、合計4点

・さんご寮

(愛称に込めた思い等)

「珊瑚礁に囲まれた浅い穏やかな海すなわち礁池(イノー)のこと。
さんご(=3×5)は、15の旅立ち、15離島の数もイメージした。(応
募者：一般)」

(選定委員会の議論)

- 5人の審査員のうち、1人が2位、2人が3位と評価し、合計4点

・雄飛寮

(愛称に込めた思い等)

「島嶼県沖縄の離島から高い志をもって上級の学校に進学し、さらに
世界に雄飛しようとする児童生徒を支援するための施設としたい。
(応募者：一般)」

(選定委員会の議論)

- 5人の審査員のうち、1人が1位と評価し、合計3点

・みらい寮

(愛称に込めた思い等)

「この寮から社会に出た人たちがみらいに向かってまっすぐ進めるよ
うに。ここで自分の未来を決めてその道にちゃんと進めるように、
と願って。(応募者：中学生)」

(選定委員会の議論)

- 5人の審査員のうち、1人が1位と評価し、合計3点

2 これまでの経緯及び今後のスケジュール

(1) 愛称案の応募状況

- ①平成27年7月17日から7月31日まで、ホームページにより一般公募を行い、13人から14件の応募
- ②平成27年7月17日から8月18日まで、関係市町村教育委員会を通して、関係中学校へ依頼を行い、6町村から45件の応募

(別添参照)

(2) 名称選定委員会（8月21日開催）の構成

- 委員長 教育管理統括監
- 委員 教育支援課長
- 〃 県立学校教育課長
- 〃 南部離島町村長議長連絡協議会からの推薦者（南大東村長）
- 〃 離島振興協議会からの推薦者（伊平屋村長）

(3) 教育委員会会議（8月27日開催）

「正式名称」候補の決定 及び 「愛称」の決定

(4) 9月定例県議会（9月中旬予定）

「〇〇〇〇（正式名称）の設置及び管理に関する条例」を上程

応募のあった愛称一覧

中学生 45件

※募集期間：関係中学校への依頼（7/17～8/18）
ホームページによる一般公募（7/17～31）

一般 14件

合計59件

類
似

NO	愛称 ()書きは読み方の 指定あり	愛称に込めた思い	応募者	選定委員会(8/ 21)の優先順位
1	群星(むるぶし)	きらきら輝く星のように、素直な子どもたちが集まって、将来は、一人一人が群れの中でも目立つ人材になるように。	一般	
2	群星寮(むるぶしりょう)	群星は多くの星を意味します。県内各離島から、集まった生徒は様々な夢や希望を持ち入寮します。生徒一人一人が輝く星として、この寮でともに過ごし、切磋琢磨しながら成長していく姿をイメージしています。	中学生	1位
3	昂星(むるぶし)	昂のように光り輝く、人材育成ができるような生活空間のイメージとして。	一般	
4	南群星寮(はいむるぶしりょう)	南十字星のようにキラキラと輝く子どもたちを支援するところだから。離島からでてきても、離島でみていた星を思い出しながら、親元を離れても寂しくないようにという思いで考えてみました	40代女性	
5	希望寮(のぞみりょう)	希望にあふれた寮であるように。	一般	2位(同順位あり)
6	希望寮	離島から出てきた、児童・生徒が希望に胸を膨らませ、ここ那覇の地で、これからの人生を左右するであろう、希望に満ちた生活を送っていく場所として、「希望寮」と命名しました。	60代男性	
7	希望	親元を離れて寮に行くので寂しいと思うけど、希望を持って毎日がんばろうという意味を込めました。	中学生	
8	青春寮	新しい高校生活を送る、高校生に青春してもらいたいからです。勉強、部活、れんあい。全部両立させてもらいたいです。	中学生	
9	青春寮(せいしゅんりょう)	高校といえば、青春そのもの。青春を楽しんでほしいから。	中学生	
10	皆・青春寮(かい・せいしゅんりょう)	高校の楽しみ、青春を皆で楽しみ、過ごすことのできる寮という感じ。	中学生	
11	向日葵	その場所、目的に向かってがんばれるように。	中学生	
12	ヒマワリ寮	ヒマワリのように明るい寮、が名前の由来	中学生	
13	東夢寮(あがりゆめりょう)	昔、東町一帯が東村(あがりむら/ひがしむら)という名称だったのでその「あがり」と、夢を持って沖縄本島にやって来る高校生の夢を応援したい、夢そのものが(夢を叶える為に)一歩でも前進、ステップアップして欲しいという思いを「夢があがる(上がる)」とかけて、「東夢(あがりゆめ)」としました。	20代女性	
14	さんご寮	珊瑚礁に囲まれた浅い穏やかな海すなわち礁池(イノー)のこと。イノーは、海の畑などともいわれ、小魚、貝、海藻など海の幸などを手軽に与えてくれる豊かな場所として大切にされるという。寮を礁池にたとえ、希望に満ちた離島の子どもたちが共に生活し、お互いにいいものを出し合え、成長していく生活の場となるように。さんご=3×5は、15の旅立ち、15離島の数もイメージした。卒業するときには、産卵の美しさのように、しっかりと巣立てるように。	一般	2位(同順位あり)
15	南星寮	南の島沖縄に希望の星が集まる。	中学生	
16	美島寮(ちゅらしまりょう)	様々な美しい離島から集まってきた子どもたちのための寮だから、この名前をつけました。	中学生	
17	ゆめはし(寮)	離島児童・生徒支援センターは、離島の子どもたちにとって安心・安全な高校生活の拠点であるとともに、島と学校、自分と未来の夢をつなぐかけ橋である。子どもたちにはそこで大きな夢を育み、その先に続くそれぞれの「未来の夢への橋」を渡って行ってほしいとの願いを込めた。	40代女性	
18	雄飛寮	島嶼県沖縄の離島から高い志を持って上級の学校に進学し、更に世界に雄飛しようとする児童生徒を支援するための施設としたい。	50代男性	4位(同順位あり)
19	がじゅまる	ガジュマルの木は、とても大きくてたくさんのいきものすみかになっていて、暖かい感じがにじみ出ているから。	中学生	

20	愛里寮	ふるさとを愛するという意味で書きました。	中学生	
21	赤華寮	沖縄を代表する赤い華はハイビスカスをイメージさせて、ハイビスカスは美しく情熱があるイメージなので、高校時代を有意義に楽しく過ごしてほしいという思いがあります。	中学生	
22	歩美寮(あゆみりょう)	「歩む道ん 美ら道によい」を略して、歩美寮にしました。意味は、どうか私たちが歩む道はきれいな道を踏ませてください、という意味です。	中学生	
23	歩夢寮(あゆむりょう)	夢に向かって歩いて叶うようにと願って書いた。	中学生	
24	うちなーの家	沖縄にあって方言をよく使うから、「沖縄」ではなく「うちなー」にした。	中学生	
25	沖縄寮	離島の人たちとも交流でふれあえる場になってほしい。	中学生	
26	春夏秋冬	一年間使うから。	中学生	
27	笑円寮(しょうえんりょう)	「みんなが笑い円を囲む」ようにしたい寮にしたいから。	中学生	
28	ちゅらHOME	ちゅらという、美しい、きれいという意味とHOME(家)をつけることによって、皆のなじみやすいようにするため。	中学生	
29	にぬふあうす	航海の道しるべとなる北極星を意味するにぬふあ星と家(ハウス)を掛けあわせた造語。県教育委員会が実施している学力向上政策の名前も「にぬふあ星プラン」となっているので、それにあやかっただから、遠い離島で子どものことを思っている親を意味する言葉を施設名につけた。また、そこで生活する生徒達が将来のにぬふあ星になってほしいという意味も込められている。従来の〇〇寮だとそこに住む人しか入れないイメージを持ってしまうと考え、ハウスにすることで地域住民の「家」でもあるということアピールしたい。	30代男性	
30	結びぬ花	生徒を花にたとえて、結ばれていく花、皆が集まってきれいな花たちになっていく。	中学生	
31	天妃寮(てんぴりょう)	「天妃」とは航海安全の守護神「媽祖(まそ)」のことです。琉球王朝時代に中国と朝貢貿易をした沖縄では、このあたりに航海安全の守護神「天妃」を祀った廟が天妃宮が創建され、大交易時代の船出や進貢船などが出港前に航海の安全祈る場所であったとされています。今も昔も変わらず、航海安全や家庭平和といった意味が支援センター込められていることから「天妃寮」としました。	40代女性	
32	みらい寮	この寮から社会に出た人たちがみらいに向かってまっすぐ進めるように。ここで自分のみらいを決めてその道にちゃんとすすめるように！！と願って。	中学生	4位(同順位あり)
33	Origin寮	この寮を起点とし、いろんな場所、分野に飛び立ってほしいという願いを込めて。(発端となる)	中学生	
34	アイランド寮	島から来るから、島を英語に変えて決めた。	中学生	
35	東寮	東町に建てられるから。	中学生	
36	網寮	沖縄は網漁が盛んだから。	中学生	
37	いこいの場	寮といえば、生徒が集まり楽しくなったりする場だから。	中学生	
38	いみぬしー(夢の巣)	学生が夢に向かって羽ばたく巣となるように！	30代女性	
39	海と都会の寮	離島の海と分かれて、都会にいくから。	中学生	
40	海島寮(かいとうりょう)	「海に囲まれた島」という意味でつけた。離島は海に囲まれているから、この名前をつけた。	中学生	
41	海洋寮	離島は、周りを海にかこまれているからです。	中学生	
42	かけはし寮	夢に向かって進んでいく、希望に満ちたかけはしになるような生活空間をイメージした。	一般	
43	鳥寮(しまりょう)	理由は、離島の生徒・児童が来る寮だから、離島の島をとってこの愛称にした。	中学生	
44	前進寮	離島から来た高校生が1人でも自分の夢に向かって前進するきっかけとなればよいと思いました。	中学生	
45	全力寮	全力で何事もやる人を育てるという意味です。	中学生	
46	大島寮(だいとうりょう)	多くの離島からそれぞれの夢や希望を持ち集まってきた高校生が寮生活をする中で、1つの大きな島、1つの家族のようにみんなで協力して、助け合いながら生活できることを願って名付けました。	中学生	
47	デイゴ寮	デイゴは沖縄県の県花であり、花言葉は「夢」、「活力」、「生命力」であるため、沖縄の未来を担う子どもたち、特に離島から夢を持って進学に来る子どもたちを、県全体で応援したいという思いを込めた。	20代女性	

48	虹の里	学校生活を虹のようにいろいろなことを楽しめる寮にしてほしいから。	中学生	
49	浮島(ふとう)	浮かんでいる島から来た人が楽しく過ごせるような寮	中学生	
50	ふれあいりょう	知らない人たちとふれあいを深めた寮。	中学生	
51	毎日 happy ワールド	いつでも楽しく、平和にいれるようなところだと思うから。	中学生	
52	南幸寮	幸せでいられればいいなと思うから。	中学生	
53	みんなの家	たくさんの離島から多くの人たちが仲良く寮で生活してほしいから。	中学生	
54	冥王星寮	NASAが約9年半かけて冥王星の接近に成功し、しかも、「わくせい」入りもしたからです。その行動、あきらめない心に感動したからです。	中学生	
55	夢叶	夢が叶うように。	中学生	
56	離島の星	離島の生徒たちの救いになると思うので、星を入れました。	中学生	
57	I Love 離島	離島の生徒が共存、協力し合えるような寮にしてほしい。	中学生	
58	Branch road life	人生には分かれ道が必ずある。だから、この分かれ道に迷わないよう、今のうちに経験しておくのがよいと思ったので、この意味を込めて名付けました。	中学生	
59	The future a dream with ones hands	絶対将来の夢をつかみ取るという思いを乗せて名付けました。	中学生	